



あきらめなければ、 大丈夫

コロナ危機の下での国会。

#自粛と補償はセットだろ の声に押され、

一律定額10万円給付や持続化給付金の実現。

#検察庁法改正案に抗議します の声で、検察庁法改正案が廃案に。

あきらめない市民の声が次々と政治を動かした国会でした。

「母親が高熱で、咳もあるのにPCR検査が受けられません」

「昨年、産休を取ってたら持続化給付金は対象外ですか？」

「助産院に、マスクも医療用防護服も届いていません」

次々と寄せられる相談の声を政府に届け、

支援策の拡充や制度改善を迫ってきました。

私のツイートに励まされ給付金を申請したという方から

「支給された」と喜びの声も届きました。

「大丈夫、あきらめないで」

「あなたを見捨てない」とハッキリ言える政治こそ。

コロナ危機のいまこそ、希望の政治をめざします。

吉良よし子

6月2日 文部科学委員会



コロナ
危機
課題うきぼり

現場の声聴き

解決へ全力!



5月25日民青同盟の政府要請に同席

収入補償と
学費減額を国に要請しました。

学生にも

収入補償を

5人に一人が
退学を
考えている



いまこそ少人数学級の実現を



6月15日新婦人の文科省要請に同行

学校再開にあたり、少人数学級の実現を求め、
保護者と文科省へ要請しました。

心のケア、
感染防止のためにも
少人数で



7月2日都内ライブハウス視察

ライブハウス、
ミニシアターなどが営業を
続けられる補償を求めました。

どんな文化も

見捨てない

生の音楽を
届けたい



中高生の

妊娠相談増



6月16日Springのみなさんと懇談

学校の相談体制や性教育の充実を求めました。
「時代にあった性教育が必要」との
文科大臣の答弁を引き出しました。

性被害当事者アドボカシー
活動団体Springの
みなさんから感謝状



声や要望 いち早くキャッチ

国会質問で 文化、芸術、ライブ、イベント支援 自粛の影響について、現場の声を国へ



「収入途絶え、立ちゆかない」など、文化、芸術、イベント関係者の悲鳴のような声をキャッチし、休業できる補償と支援を国に求めました。(3月18日文教科学委員会)

一番最初に
国会で話してくれた。
一つの希望。
(DJ Mars89さん)

政治の場で
とりあげてくれて
本当に良かった。
(新日本フィル 山口さん)

多数関係者から
反響

3/18質問動画の
再生回数
35万回
再生!



成果

支援制度の
創設・拡充に貢献

- ✓ 持続化給付金
フリーランスなど対象拡大
(中小企業庁)
- ✓ 文化支援パッケージ
560億円 (文化庁)
- ✓ 文化芸術
復興創造基金の創設

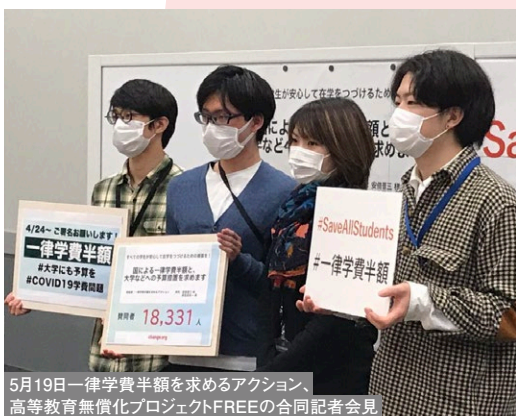
課題

給付金一回限りでは
足りない
線引きのない
補償を
基金に
国の拠出が必要
引き続き求めます

国会質問で

学生支援

困窮する学生への支援求める



「5人に1人が退学を検討」との高等教育無償化プロジェクトFREEの調査結果や一律学費半額を求める署名の声を届け、学費減額と収入補償を求めました。(3月18日文教科学委員会)



成果

支援制度の
創設・拡充に貢献

- ✓ 学生支援緊急給付金
- ✓ 緊急授業料減免など
総額約700億円
- ✓ 奨学金返還猶予

課題

給付要件
厳しすぎる
学費の一律半減
こそ必要
学生支援予算の
さらなる増額
引き続き求めます

相談にこたえて

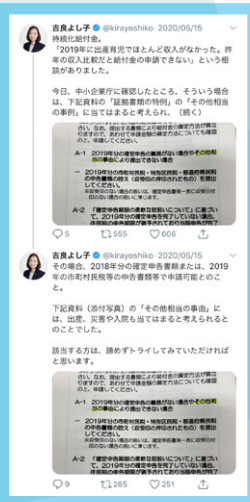
持続化給付金

「ふりこまれました!」

「出産したため去年は事業収入がなく、窓口でだめといわれ申請できなかった」との相談をうけ、即、中小企業庁に要望したところ、「昨年病気・出産などした場合は、特例として一昨年の収入で申請ができる」との回答を得ました。実際に申請した方から「振り込まれた」といううれしい声も届いています。 ※事業の継続のために中小企業やフリーランスなどへ支給される給付金。

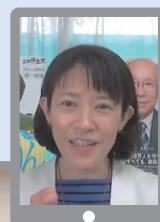
声/ 吉良さんのツイートで希望が見え、再度申請したら満額ふりこまれました! 私のような人がたくさんいます。あきらめないでと伝えてください。

ツイッターで
中小企業庁の回答を拡散



初の

“オンライン★キラトーク”を開催



「吉良よし子と藤田りょうこ都議が語る東京」をテーマにZOOMというアプリを使って対談しました。

その場でいろいろ
質問できてよかった。

吉良さんの
アドバイスをもらえて、
さっそく家族が
給付金を申請した。

6月28日

来るべき総選挙 力をあわせてがんばります!



#国会を止めるな!
7月に閉会中審査

学生支援緊急給付金
文科大臣
開き直り!!



「申請すら受けとってもらえない」「フェアじゃない」など、学生の声を届け、制度改善を求めました。大臣は「一人残らず救える制度ではない」と答弁。開き直るのではなく、最後の一人まで支援が必要です。